

## 【意見聴取の結果→方向性の検討】

## 令和6年度実施事業（人材確保・育成関連）の方向性について

第1回会議で説明した表題の件につきまして、本年度議論していくべきテーマに関して各委員に聴取した内容を以下のとおりとりまとめた。

ふりかえり：前回会議で提案があったテーマ及び事務局提案内容

- ・中学生キャリア教育（中小企業同友会志太支部提案、横須賀市施策を参考に）の充実
- ・スタンプラリー小中学生と親子で職場見学（事務局提案）
- ・高校生が求めているものヒアリング（事務局提案）

## 【意見聴取結果】

## 1. 意見聴取を受けた取り組みの方向性の整理

## (1) 人材確保・育成関連の実態調査の実施

- ・調査の中で「高校生・大学生・若者就労者へのヒアリングやディスカッション」の実施や「Uターン希望する市出身の大学生」へのヒアリングの実施

## (2) 会社紹介動画の作成と投稿

- ・島田市産業ポータルサイトへの掲載の可能性

## (3) 前回会議での事務局提案分ほか

- ・中学生へのキャリア教育充実
- ・スタンプラリー小中学生と親子で職場見学（事務局提案）

## 2. 実施に向けての課題

- ・事業範囲の確定、予算化
- ・対象企業/対象者の選定、役割分担（企画と運営）
- ・スケジュール
- ・既存事業とのリンク

## 意見聴取結果詳細

## 【意見A】

## 1.実施していきたい事業

- ・高校生に対して、就職先の決定に何が重要、求めるものは何かをヒアリングしたい。

## 2.上記検討理由

- ・地元に残る＝親元から通うということを考えている高校生がどれだけいるのか？
- ・市内にとどまりたいと思うのは、どういう理由からか？ということを見極める必要があり、どうしてそうするのか？などを知っていく必要がある。と思います。
- ・市外・県外からくる場合、奨励金などは有効かとは思いますが、どこまでそれを周知徹底できるかなどはPRも含めて考えていく必要があるのではないかと。
- ・高校生と親の関係性も考慮すべきで、大前提が家族と離れたくない、経済的に支えあうため実家に残る、など様々な理由があると思う。
- ・昨今、離職の多くは精神的な理由が想定される。就職してもなかなか定着しないなど、その人を支えていくためにはどうすればいいか、考える必要がある。
- ・決定打があれば、受け入れ企業も様々な側面が見えてくるのではないかと。企業側の受け入れ態勢について、中小企業向けの産業カウンセラー支援なども取り入れてもよいのではないかと。
- ・質問力が問われるため、単純な○をつけるタイプではないアンケートが必要になる。
- ・別案の小中学生のスタンプラリーは、スタンプを集めることが目的になってしまう可能性があり、次の対策が立てにくいのではないかと。
- ・弊社でも初倉南小学校の受け入れを何年も前からしているが、それでこの会社に入りたいなどは出てこないのが現状である。（会社に魅力がないだけかもしれませんが）
- ・市独自の取組とするのではなく、国策として親の働いている姿を見るなど社会見学的な要素が必要ではないかと。

## 【意見B】

## 1.実施していきたい事業：

- ・島田市Youtubeチャンネルへの会社紹介動画の投稿（動画作成～投稿）
- ・人材確保を図りたい会社が、独自で会社紹介動画（1分程度で会社の魅力、働く仲間、職場の状況を動画にまとめる）を作成し、作成した動画を島田市Youtubeチャンネルに投稿の上、島田市在住者を中心に広く視聴してもらおう。また、島田市Youtubeチャンネルへの投稿後は、島

田市の公式LINE等通じて周知し、就職希望者の保護者にも知っていただく。

- ・デジタル世代の若者たちの身近なツールを活用し、市内の企業の魅力を実感してもらい、人材確保の一助としたい。
- ・なお、自社で動画作成ができない会社向けに、動画作成セミナーを開催し、制作方法を学んでいただく取組もいかがか。

## 2. 上記検討理由

- ・求職者（高校生や大学生）が就職先を調査する方法として、ホームページや動画等を活用する方が多いことが理由。ただし、ホームページについては、特定の会社を限定した上で検索することになることから、当該会社の存在を知らなければ、検索されにくい。
- ・島田市Youtubeチャンネルという枠の中に入れることにより、島田市に興味がある方については、視聴される機会も増え、島田市の公式LINEを通じて本件を周知することで、さらに視聴される機会が増えるのではないか。

## 【意見C】

### 1. 実施していきたい事業：

- ・大学生を対象とした「近隣市町の合同企業説明会」の開催

### 2. 上記検討理由

- ・島田市の取組案に「小学生・中学生とその親を対象とした「スタンプラリー親子で職場見学」と「市内高校生を対象とした、就職において高校生が求めているものは何か（アンケート）」があるため、大学生を対象とした取組みを提案したい。
- ・弊金庫では、3市2町と連携して「Uターンプロジェクト」を実施している。
- ・先日、「Uターンプロジェクト情報交換会」を今後参加予定の1市を含めた4市2町で開催した際の、多かった意見として、
  - ◆課題として、単独企業の説明会では、対象学生が少なく集客が見込めない。行っても学生が集まらないこと
  - ◆連携して行う事業として、「大学生を対象とした近隣市町の合同企業説明会」の開催を計画していく。島田市様の参画も検討してほしい。

## 【意見D】

### 1. 実施していきたい事業：

- ・就職したい職業、なぜ働く？を高校生と本音でディスカッション

### 2. 上記検討理由

- ・就職したい職業？
- ・どんな職業に就きたい、どんな職場環境の企業で働きたいのか。

- ・就きたい職業もなく、職場環境として言われたことをやればよいと思われてはいないか。
- 働くとは何か？
  - ・なぜ働くのか？正社員ではダメなのか？フリーター、派遣社員でも良いと思っているのか？等、働くという行為について本音を聞きたい。
  - ・今の若者は給料を考える上で並みの生活ができれば良い、休みは多い方が良い、責任は持ちたくない、将来のことはあまり考えない、昇進は望まない、などよく聞くが、実際のところを聞きたい。
  - ・また、今の就労する若者の本音を聞きたい。

## 【意見 E】

### 1. 実施していきたい事業：

- ・人材確保・育成関連の実態調査事業

### 2. 上記検討理由

- ・前回の会議で事務局から出された2つ案では、「小中学生や親に事業所を知っていただく事業」と「高校生が就職先として求めるものを調査する事業」となっているが、そもそも、市内の事業所が「どの程度求人を出し、採用しているか」「離職率はどうか」、「人材育成はどのようにしているか」などの実態が分からないと対策が立てられないと考える。
- ・令和元年度の「島田市中小企業・小規模企業実態調査」では、人員確保の状況について、「過不足がない」が54.3%と半数を占め、運輸や建設、宿泊の業種で「やや不足」となっていますが、コロナ禍を経て、状況に変化があるのではないか。
- ・ちなみに、日本商工会議所が本年7月に行った調査では、68.0%の企業が「人手不足」と回答し、全ての業種で5割を超えている。業種別では、介護・看護業(86.0%)、建設業(82.3%)、宿泊・飲食業(79.4%)の順で、人手不足と回答している。

### 参考：＜調査項目(案)＞

- ・事業所名
- ・業種
- ・事業所の正職員数、非正規職員数
- ・令和5年度の求人者数
- ・令和5年度の採用者数
- ・入社3年目での離職率
- ・その他職員採用での困りごと・不安に感じていること
- ・人材育成方針
- ・研修制度または研修支援制度の概要
- ・その他人材育成について工夫していること など

## 【意見 F】

### 1.実施していきたい事業：

- ・スタンプラリー親子で職場見学
- ・就職において高校生が求めているものは何かを把握

### 2.上記検討理由

- ・スタンプラリーについては、親子で見学できるところが魅力だと思われます。子供だけでなく、親も島田の企業の魅力を発見すれば、子供との会話の中で、子供にそれが伝わると思います。
- ・高校生へのヒアリングについては、今の高校生が職業について求めるものがわかり、そのニーズにどう企業側が対応していけば良いのか、対策が立てられると思います。

## 【意見 G】

### 1.実施していきたい事業：

- ・小学校、中学校、高校で、企業が授業を行う。

### 2.上記検討理由

- ・地元の企業が何をやっているか伝える、企業の存在をアピールする。